

家庭保存・掲示用

大規模地震発生と警戒宣言発令時の学校と家庭の対応について

※ 警戒宣言発令の場合	東海沖地震の発生について判定会議が開かれ、近い将来、東京を含む関東地方に大規模な地震が起きる可能性があると考えられた場合に警戒宣言が発令されます。 発令された場合には、通信規制や電話回線の混乱等で連絡できなくなることが予想されます。テレビやラジオ、有線、防災無線（以下公共放送）等から情報が流されますので、それを聞いて引き取りにきてください。従って、 <u>学校からの連絡は致しません。</u>
※ 震度5弱以上の大規模地震発生の場合	<u>公共放送</u> で、東京（多摩地区）が震度5弱以上の揺れがあった場合は、学校に <u>全員を留め置きます</u> ので、必ずあらゆる手段を取り、引き取りにいらしてください。

場 所	登 校 中	学 校 に い る と き			下 校 中	家 に い る と き	
		授 業 中	始 業 前・休 み 時 間	放 課 後			
学 校 での 対 応	警戒宣言	○学校へ向かう。	○授業中止、下校準備をする。 ○先生の指示に従って家の人の引き取りを待つ。	○教室に入って、下校準備をする。 ○先生の指示に従って家の人の引き取りを待つ。	○学校にいたら、教室に集合する。 ○先生の指示に従って家の人の引き取りを待つ。	○警戒宣言を聞いたから学校に戻る。 ○警戒宣言が解除になるまで、学校は「臨時休校」	
	大地震発生	○ブロックベいや家の近くなどからはなれ、安全なところに避難する。頭の上にランドセルや上着をかぶせて身を低くする。 ○ゆれがおさまったら、学校へ向かう。 ○先生の指示に従って家の人の引き取りを待つ。	○机の下にもぐり、机の足をつかむ。 ○ゆれがおさまったら、先生の指示に従って校庭に避難する。 ○先生の指示に従って家の人の引き取りを待つ。	○外にいる人は、校舎からはなれる。 ○校舎の中にいる人は、机の下にもぐり、机の足をつかむ。 ○ゆれがおさまったら、先生の指示に従って校庭に避難する。 ○先生の指示に従って家の人の引き取りを待つ。	○外にいる人は、校舎からはなれる。 ○校舎の中にいる人は、つくえの下にもぐる。 ○ゆれがおさまったら、先生の指示に従って校庭に避難する。 ○先生の指示に従って家の人の引き取りを待つ。	○ブロックベいや家の近くなどからはなれ、安全なところに避難する。 ○頭の上にランドセルや上着をかぶせて身を低くする。 ○ゆれがおさまったら、学校に戻る。	○学校は「臨時休校」
	職員	警戒宣言 大地震発生	○ 警戒宣言発令時、災害時ともに、児童の安全を確保するため、引き渡しをはじめとした体制を校長以下全職員で取る。 ○ 関係機関（都、市災害対策本部など）からの連絡を常に受け、児童の安全が確保できるようにする。				
家 庭 の 対 応	警戒宣言	○ 児童が家庭にいるときは、登校させない ○ 児童が学校にいるときは、引き取りに来る。 ○ 警戒宣言が解除になるまで、「臨時休校」になるので家庭待機					
	大地震発生	○ 児童が学校にいるときは、引き取りに来る。 ○ 地域の避難場所に避難する。（家族で話し合っておく。）					

<< 注意事項 >>
 * 電話による学校への問合せはご遠慮ください。
 * 自動車での引き取りはできません。